

テーマ

# ずっと住みたい加茂

|                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 事業実施地区（中学校区名）                  | 雲南市加茂町（雲南市立加茂中学校区）   |
| 事業実施公民館等名<br>（中学校区内にある全ての公民館等） | 加茂まちづくり協議会（加茂交流センター） |

## テーマの背景

平成27年度に加茂まちづくり協議会が立ち上がり、「加茂まちづくり計画」が策定された。この計画策定にあたっては、地域課題解決に向けて議論を行い、将来像をどのように描き、目指していくのか検討を重ねた。

その結果「ずっと住みたい加茂」を目標にした計画書となり、加茂まちづくり協議会では、この計画の実現に向かって取り組んでいる。

## 実際の取組

### 「次世代が住みたくなる加茂」を目指して

事業名：ママじかん&お父さんと一緒！自然遊び in 加茂

#### <取組の概要>

日頃、家事・育児・仕事で疲れているママのために、癒し、ゆったりした時間を過ごせるコーナーをつくり、ココロとカラダをさらに癒せる時間として、ワークショップやコンサートを開催した。ママのために、パパも一役ということで、子どもたちはお外で、パパやお遊びのプロたちと外遊びを満喫した。



#### <成果と課題>

今回はUNNAN子育て応援会議の皆さんの企画と協力で、事業をすることができた。若い人の企画は斬新で、100人程度と思いきや800人以上の来場があり集客力のすごさを感じた。ふるさとの良さを多くの方に感じてもらえたと思った。

しかし企画・準備段階からスタッフ不足があり、当日の集客に対応するスタッフも少なく、企画運営や安全管理面に課題が残った。

「みんなにやさしい加茂」を目指して

事業名：かもめし～伝説になる？幻の加茂いなりをつくろう!!～

<取組の概要>

加茂地域にはこれといった郷土料理が無いことから、

①伝説になる「幻の加茂いなり」

②オール加茂食材「オールかぶいも汁」

を作る親子料理教室を行った。

二種類のメニューともほとんど加茂の食材を使用し、その食材を提供いただいた生産者の方に講師として当日参加いただき交流し、地元で生産されている物について学んだ。



<成果と課題>

参加者にとって、地元で出来る野菜など知ることができ、また調理し食べることによって地元の良さを学ぶ良い機会となった。

他の行事などと重なり、参加者の確保に苦慮した。参加してみると楽しく、また参加したいと言われるが、そこまでのハードルが高いと感じた。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

「ふるさと教育推進」のテーマにあてはめ、自分たちで事業を企画することはできるが、それが参加者のニーズに合っているのかと言われると疑問が残る。今回のように、今後もこのまちに住み続けてほしい子育て世代の方に企画に入ってもらおうことが、ポイントだと思う。

今後の展望

今回のように、事業実施の場と事業費を提供し、事業理念と合致する地元の活動団体に企画・運営の主体を担ってもらう形は、よりきめ細かな事業計画が可能になることと、組織としても今後の地域活力の育成という面で非常に将来性を感じた。

若い世代のエネルギーを実現させる支援、そこに組織が持つふるさとの歴史や継承したい文化を融合させることで、ふるさとへの愛着等も含めた次世代育成が可能と考える。

今後もこうしたスタイルでの事業を継続して行い、若い世代の郷土愛を醸成していかなければならないと感じる。

文責者：加茂まちづくり協議会 主事 基常和子

～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～  
公民館ふるさと教育推進事業 取組事例